

地域で明るい未来のひとづくり

◎ライフキャリア教育講演会



2月21日、中央公民館で教育関係者を対象に、「鬼北の未来を創る!ライフキャリア教育講演会」が開催されました。

ふるさと教育やキャリア教育の拡充を目的として、講師に島根県益田市教育委員会社会教育課の大畑伸幸氏を招き、「未来を担うひとづくり～人生観を育むライフキャリア教育へ～」と題して行われたこの講演会。大畑氏は「子どもは将来地域を担う大切な存在。地域全体で子どもが将来ふるさとに帰って来たいと思える種まきを行い、世代を超えて対話で心を育んでほしい」と訴えかけました。

五感で楽しむ鬼の地獄道

◎鬼の地獄道デュアスロン in Hiyoshi



「鬼の地獄道デュアスロン in Hiyoshi」は2月23日、日吉地区を中心に開催されました。

「デュアスロン」とは、トライアスロンの水泳をランに変え、ラン、バイク、ランでコースを走破するスポーツ。この日は、県内外から多数の自転車愛好家らが参加しました。

参加者らはフルコース（ラン約10km・バイク約34km・ラン約3km）と、バイクのみのコース（約34km）に分かれて、日吉産地を出発。想像以上の過酷なコースに時折疲れをのぞかせながらも、それぞれの楽しみ方で鬼の地獄道を完走していました。

心奪われる物語の世界

◎きほくの里人形劇



東京都の「劇団すぎのこ」による「きほくの里人形劇」は2月23日、近永公民館講堂で開催され、町内の親子連れなどが観賞に訪れました。

この日の演目は、木彫りの人形と紙芝居を使った「おおきなかぶ」と、「三まいのおふだ」の人形劇。まるで命が宿ったかのように人形を操る劇団員の熱演に、子どものみならず大人までもが、その物語に目が釘付けになっていました。

変幻自在のきじ料理に大満足

◎きじ鍋まつり



「きじ鍋まつり」は2月23日、鬼北町農業公社で開催されました。

鬼北町の特産品である「きじ」を堪能しようと、今年も町内外から多くの方が来場。きじの串焼き、メンチカツやカレーなど、ここでしか味わえないさまざまなきじ料理に舌鼓を打つ来場者たち。中でもメインである「きじ鍋」には絶え間なくお客さんが訪れ、美味しそうに頬張っていました。